

レーザー江ノ島フリート、フリートレース
標準帆走指示書 (2022、04、01)

1. 競技規則

この帆走指示書によって変更のあるものを除き、全レースを通じて国際セーリング競技規則(以下 RRS)、日本セーリング連盟規程、レーザークラスルールを適用する。ペナルティー方式 RRS 付則 P は適用しない。

2. エントリー

原則として「世界各国のレーザークラス協会に登録されたレーザーフリートのメンバー」であれば誰でもエントリーすることが出来る。

海上からエントリーする場合は本部船に申告すること。

3. 帆走指示書の変更、及び選手への通告

この帆走指示書の変更及び選手への通告は、当日のスキッパーズミーティングにおいて、書面もしくは口頭で伝えられる。場合によっては、コミッティーの判断により海上で口頭で伝えられることがある。

4. 安全

(a) 各選手は、離岸から着岸まで、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、個人用浮揚用具を着用していなければならない。これは RRS40 を変更している。ウェットスーツとドライスーツは個人用浮揚具ではない。

(b) 直径 6 mm、長さ 5 m 以上のバウラインをバウアイにつけておかなければならない。

(c) マストトップに着脱可能な浮力体を取り付けても良い。

5. 出艇、着艇申告

江の島から出艇する場合、チェックアウト/チェックインシステムを採用する。各艇は、出艇前にレース本部の所定のチェックアウトリストにサインして出艇し、帰着後速やかにチェックインリストにサインしなければならない。逗葉、材木座から出艇の場合は、各フリート単位で出着艇の取りまとめを行い、着艇の申告はライン(ライングループ：湘南レーザーレーシング)、携帯電話等などにより、当該コミッティーに連絡すること。

6. クラス旗

スタンダードクラスのクラス旗は白地に赤のレーザーマークとする。

ラジアルクラスのクラス旗は緑地に赤のレーザーマークとする。

4. 7クラスのクラス旗は黄色地に赤のレーザーマークとする。

7. スタート

(a) スタートラインは「オレンジ旗」を揚げたコミッティーボートのマストと帆走指示書 10 (b) に示されるスターティングマークとの間とする。

(b) 参加艇はスタート信号後 4 分以降にスタートしてはならない。

(c) 各クラス（4.7クラス、ラジアルクラス、スタンダードクラス）ごとにスタートを行う。1つのクラスまたは複数のクラスのエントリー数が著しく少ない場合、2つのクラスもしくは全クラス同時にスタートする場合がある。

(d) 1つのレースまたは、一連のレースが間もなく始まることをレース艇に注意を喚起するために予告信号を発する最低4分以前に音響 1 声とともにオレンジ色のスタートライン旗を掲揚する。

8. スタートの罰則ルール

すべてのレースにおいて、準備信号として「U旗」が掲揚され、RRS30.3のU旗規則が適用される。

「スタート信号前1分間の間に、ハル、乗員あるいは艀装の一部がスタートラインの両端と第一マークを頂点する三角形に入ったと確認された艇は、審問なしにそのスタートを失格とされる。ただし、レースが再スタートまたは再レースとなった場合、失格は解消される。」

9. コース

コースはおおよそ添付のコース図に示されるように設定される。（リーチングレグの角度はおおよそ60度とする）。

10. マーク

- (a) マーク1、2、3はオレンジ色のプラスチック製マークとする。
- (b) スタートマークは第3マークとする。
- (c) フィニッシングマークは黄色のボンテンとする。

11. コースの次のレグの変更

風向が大幅に変わった時、通常のマークの位置を変更する場合がある。

このとき、RRS33(コースの次のレグの変更)によるフラッグシグナル等の手順が間に合わないとコミッティーが判断した場合、口頭によって選手に伝えることがある。

12. リタイア

リタイアする艇はその旨を本部船に伝えること。本部船に伝えることが困難な場合、周りの参加艇にその旨を連絡し、帰着後速やかに当該コミッティーに携帯電話、ライン等により連絡すること。

* 当日コミッティーの携帯電話番号は着艇申告用紙に掲示される。

* 「湘南レーザーレーシング」のライングループへの加入を推奨する。

13. コース短縮

コースを短縮することがある。

14. フィニッシュライン

フィニッシュラインは「青旗」を揚げたコミッティーボートの「オレンジ旗」を揚げたポールと、帆走指示書10(c)に示されているフィニッシングマークとの間とする。

15. タイムリミット

各クラス（スタンダードクラス、ラジアルクラス、4.7クラス）のトップ艇フィニッシュ後、20分以内にフィニッシュした全ての艇に順位が与えられる。その他の艇は、フィニッシュしなかった艇（DNF）としての得点が与えられる。

16. 抗議

著しくシーマンシップに反する行為等に関しては、コミッティーの判断により全シリーズを失格とする場合がある。

17. 得点

本大会は最多で4レースを予定し、全てのレースの合計を得点とする（RRS A2を変更）。最低1レースをもって本大会は成立する。

18. リスクステートメント

RRS3には「レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある」とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングに内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリングスポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害、もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

19. ゴミの処分

ゴミは各自で処分すること。本部船に渡してもよい。

コース図

